

「見よ、黎明の空澄みて…」

## 何十年たっても青春、か!?

2023年度総会&付帯行事報告



去る6月17日、「リーガロイヤルホテル小倉」におきまして、総会並びに付帯行事が行われました。

今年の春くらいから新型コロナウイルスの社会的影響も幾分和らいできたように思われますが、総会の出席者は21名と相変わらずの少数精鋭でした。それでも69通の委任状をもって無事開会の運びとなりました。

会は例年通り、仁保一正支部長の挨拶から始まり、本年は松木平淳太副学長（理工学部、数理・情報科学課程教授）より大学を代表してのご挨拶とともに、龍谷大学の現状について、説明をいただきました。

また議事は、酒井光義氏（1974年・文卒）議長のもと進められ、会計、事業ともに執行部提示の原案通り承認いただき、学科斉唱の後、本年もつつがなく閉会いたしました。ご欠席の方には総会資料を同封いたしますので、詳細はそちらにてご確認ください。

続いて記念公演として準備されました、安芸教区僧侶有志伝道集団「アサカラザル」所属のお二人による漫才を楽しみました。宮武大悟氏と来島法暁氏の繰り広げるやり取りは、僧侶ならばこそその楽屋落ちの部分もありつつ、それでもM-1グランプリでも通用しそうな息びつたりの掛け合いに会場は大爆笑！総会案内プリントの裏面に掲載したアサカラザル

紹介文には「お声掛け下されば何処へでも!!」とありましたが、漫才終了後、早速公演依頼の声が掛けられていました。そして、お楽しみ、お待ち兼ねの懇親会です。来賓でお越しの神鳥誠・校友会本部理事（広島支部支部長、1972年文卒）に音頭をとっていただいた乾杯を皮切りに、あっという間に出席者一同入り乱れて、以前が賑わいに変わらない交流の場となりました。

特に今年は30余名の参加ながら、松木平・神鳥両来賓、宮武・来島両氏に加え、若い新規会員や転勤で小倉に来て参加してくれた校友、また福岡地区からの参加の校友などバラエティに富んだメンバーで、地域、年齢を超えて親交が深まったものと思われます。更には「アサカラザル」のお二人も巻き込んでのYES・NOクイズや大喜利が行われ、学生時代と現在を、また懐かしさと新鮮さを堪能した2時間となりました。

最後は、すっかりいつものようになってしまいました。元体育局局长、岩永康志幹事によるエールのもと『逍遙の歌』を歌って終了となりました。

数えてみれば、2025年ははや発会から10年目を迎える年となります。その10周年に向けての取り組みとして、新規



参加者に記念品として配付の、龍谷大学校友会オリジナルグッズ。今年は3学舎が印刷されたものにパッケージされたお香でした。

会員の獲得や斬新なイベント企画など、今後の活動に一人でも多くの皆さんのご参加、ご支援を念願するところです。

私は龍谷大学を2018年に卒業しました。こうして校友会活動に参加していると、学生時代の記憶の数々が懐かしく脳裏をよぎります。たった4年間の大学生活でしたが、この間経験したことや学んだ日々というものは、今ではかけがえのない宝物のようなものだと思っています。

その中でも特に思い出すのは、「学部での講義」と「サークル活動」の2つです。

大学の4年間では、主に浄土真宗の教えの要である「真宗学」を学びました。

私が所属していた文学部・真宗学科は、全国浄土真宗本願寺派の寺院子弟が多く集まる学科なので、真宗学を学びに来た様々な人と交流し親睦を深めることができました。同じ志をもってともに教学の研鑽に励んだ日々が、とても懐かしく感じます。

具体的に、どのように学んでいたかという点、1回生と2回生の間は、浄土真宗の基礎を学びました。4人で1班を構成し、毎週それぞれの班でテーマを決めて演習発表を行うなど、教授が主体ではなく、学生と教授が一体となって取り組んでいくという講義風景は、とても新鮮なものでした。

そして何よりも、その講義を多角的な視点に着目しながら進めるといふ状況は非常に刺

激になり、「大学」という環境で学ぶことの貴重さを実感しました。

また3、4回生時はゼミにおいて、より専門的な分野の一つである「教学史」を選択し、「御一代記聞書」という書物について学ぶことができました。

『御一代記聞書』とは、「中興の祖」といわれる本願寺第8代宗主・蓮如上人の言行録であり、浄土真宗のご法義を日本全国に広めた蓮如上人の一面を垣間見ることのできる、非常に重要な書物です。ゼミではその内容を

## 大学生活を振り返って

2018年・文学部卒

日野 大樹



事細かに掘り下げ、蓮如上人が真宗教学についてどのような見解を示していたのか、学ぶことができました。

そのほかにも、履修した講義は真宗学だけでなくとどまらず、心理学やアジアの歴史、英米文化、経営学など多岐にわたり、このような講義を受けることができたのも大学であったからこそ、今でも実感しています。

2つ目の「サークル活動」については、講義とはまた別の意味で、印象に残ることばか

りでした。

私はほぼ4年間、アコースティックギターサークルに所属して活動してきました。サークル活動は主に火曜日と金曜日で、講義が終わり次第練習に励んだ日々が懐かしく思い出されます。

また活動は大学内だけにとどまらず、BK C（立命館大学・琵琶湖草津キャンパス）に所属するグループとの合同演奏会など、他大との交流もすごく印象に残っています。

サークルのメンバーとは京都のお寺や神社を観光したりテーマパークに遊びに行ったりと、ギターの練習以外のプライベートでもたくさん遊ぶことができました。このサークルに入らなければ出会えなかった沢山の仲間と過ごした素敵な日々は、私にとってかけがえのない思い出です。

今回このエッセイを書くにあたって、大学時代の懐かしい日々を思い出すことができました。長い人生の中でたったの4年間ですが、大学生活がもたらした影響力の計り知れなさをただただ痛感するばかりです。

これからは龍谷大学とは校友会を通じてのつきあいとなりますが、あの頃の感激をともに語り合える場として、このご縁が長く続いていくことを心の底から願っています。

ご案内

龍谷大学女子会「龍Ron小町」  
第8回総会並びに発足10周年記念事業

開催のお知らせ

7月下旬、本部事務局より左記の要項で  
標記行事のご案内がありました。

女子限定の、またこの会報発行までお知  
らせの機会がなかったので申し込み期限ぎ  
りぎりのご案内となりましたが、またとな  
い貴重な機会と思われまます。よくお読み  
いただき、奮ってご応募ください。

なお、参加ご希望の方が1名のみの場合、  
北豊支部代表（役職とは違いますが、ご  
安心ください）としてご参加いただき、交  
通費と宿泊費を全額助成いたします。また、  
2名以上の場合は人数に応じて、均等に相  
応の助成をさせていただきます。

訂記

◇日付はすべて10月7日（土曜日）

- ①令和5年度龍Ron小町第8回総会
- 《時間》 11時～11時40分
- 《場所》 本願寺聞法会館・3F会議室
- 《内容》 総会行事

― 昼食（弁当） ―

②龍Ron小町10周年記念事業

《時間》 12時30分

《場所》 本願寺聞法会館・3F会議室、  
西本願寺、龍谷ミュージアム

《内容》 西本願寺団体参拝及び  
龍谷ミュージアム見学

③龍Ron小町10周年記念祝賀会

《時間》 17時～19時（終了予定）

《場所》 ホテルグランヴィア京都  
（JR京都駅直結）

《内容》 祝賀会

\*なお、②③は、京都市支部10周年記念  
事業と合同開催となります。

【申し込み】・本部事務局の締切りが9月  
8日となっておりますので、参加ご希望の  
方がおられましたら9月7日までに事務  
局・大江までご一報ください（携帯09  
01744810075）。

詳細ご説明申し上げます。

以上



物故会員のお知らせ

1955年・文学部卒

大江智朗さまへ令和5年7月14日没

\*ご生前中のご協力に感謝し、謹んで  
哀悼の意を表します。



事務局雑感

▼新型コロナもようやく落ち着いてき  
たようで（その社会的影響力が薄れて  
きた、ということ）、今年度にな  
ってからいろんな行事が復活してい  
ます。4年前はこれが当たり前だった  
はずなのに、何だか急に忙しくなった感じ  
で右往左往しています。この3年間、いか  
に楽をしてきたか、ということでしょう。  
といって、また3、4年もすると、この忙  
しさが当たり前になり、人間とは結局、環  
境や状況に適応していくものだということが  
実感されます。ただ、そんななか決して  
元に戻れないものもあります。それは、年  
齢を重ね失われていった体力、気力です。  
年金をもらう年となり、いろんな場面で交  
替や引退を切実に考えるようになりました。

▼この校友会の運営もどこかで引き継いで  
いかねばなりません。それにはまず引き  
継いでくれる後進が必要です。私の所属し  
ますお寺の世界では、そんな人たちがいな  
くなり、解散していく会が幾つもあります。  
このたびの総会では、若い、新しい顔が  
ちらほらと見受けられ今後が期待されるこ  
ろですが、何よりも、参加したい、仲間  
になりたいと積極的に思ってもらえるような、  
魅力的な会であることが一番でしょう。た  
だ（当然のことながら）、それが何と難し  
いことか！皆さま方の一層のご協力、お願  
い申し上げますばかりです。 [記・〇]

# 龍谷写真館 in 北豊十

・このたびも撮影に失敗し、懇親会のあの楽しさを写真でお伝えできないのが本当に残念です（+ピンぼけ、御免！）。



・左、総会の最後にあたっての学歌斉唱。みんなパンフレットの歌詞を見て歌ってますが、仁保支部長ひとり、何思う!?



龍谷大学校友会 福岡県・北豊支部

今年の総会、記念公演、懇親会  
・左、いつもの記念撮影ですが、今年はずいぶん「はん」が大・小約2名ほど……。遅れて来て写れなかった人は、残念！



◆右、鹿児島支部からのご案内チラシを縮小掲載してみました。3ページの件と同様に期限ギリギリのお知らせとなって恐縮ですが、興味ある方、ご縁のある方は行ってみられませんか。ちょっと遠いけど……。

龍谷大学校友会 福岡県支部 結成40周年記念行事

テーマ 自省利他とSDGs 仏教

記念講演会 入澤 崇 龍谷大学 第9代学長 Takashi Iisawa

2023年 9月9日(土)  
開始 14:00 終了 17:15(予定)  
◆14:15 第1部 記念講演会  
◆16:05 第2部 吹奏楽部演奏会

西本願寺鹿児島別院 本堂  
〒892-0842 鹿児島市東千石町21-38  
TEL: 099-222-0051 W4bサイト

Ryukoku University Symphonic Band 龍谷大学吹奏楽部

【主催】お祝い会々々 龍谷大学校友会鹿児島支部事務局 〒892-0842 鹿児島市東千石町21-38 本願寺鹿児島別院内 TEL: 099-222-0051 Fax: 099-226-4526

参加費無料 事前申込不要

西本願寺鹿児島別院 SUSTAINABLE GOALS



上、懇親会の締めとして、元体育局局长の岩永康志さんによる応援エールです。

・上、「アサカラザル」の宮武大悟氏(左)と来島法暁氏(右)による漫才。会場、大爆笑でした。下、高岡宏信さん(右、2001年・卒)と宮武氏は、実は従兄弟同士だそうです。本ページ右上の2枚とともに、高岡さんがフェイスブックにアップしたものをお借りしました。

